TOSHIBA

GENIO e e550C クイックスタートガイド

GENIO e のWebサイト

URL http://genio-e.com/

商品情報や技術サポート情報などを提供しています。

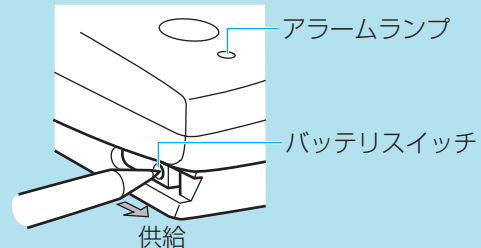
付属品

最初に付属品をご確認ください。

スタイラス(本体に装着)	1本
USBクレードル	1個
ACアダプタ	1個
電源コード	1本
イヤホンマイクアダプタ	1個
取り出しテープ	2枚
コンパニオンCD	1枚
アプリケーションCD	1枚
クイックスタートガイド(本書)	1枚
取扱説明書	1冊
ソフトウェア使用許諾契約書	1式
保証書	1枚

電池を充電する

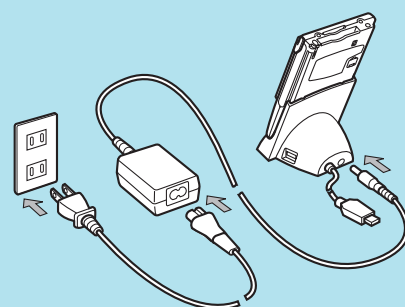
1 バッテリスイッチを「供給」にする

工場出荷時はバッテリスイッチが「停止」になっています。お買いあげ後、初めてお使いになるときは、ペン先などで「供給」側に移動してください。通常は「供給」にしておきます。

「停止」側に戻すときは、①ロック部分をペン先などで内側に押し込み②「停止」側に移動します。「停止」にすると、本体が初期化され、お客様が登録したデータなどが消え、工場出荷時状態に戻ります。

2 ACアダプタで電池を充電する

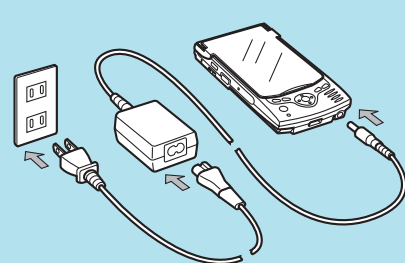
充電には2つの方法があります。満充電までに約4時間かかります。

クレードルを使う方法

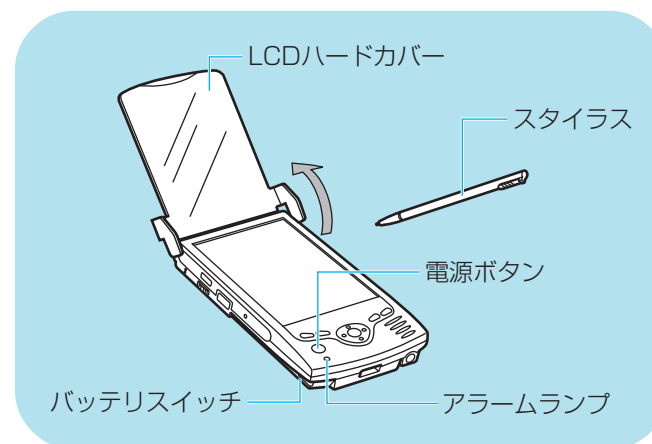
付属のACアダプタとクレードルを図のように接続し、本体をクレードルに差し込みます。

本体にACアダプタをつなぐ方法

付属のACアダプタと本体を図のように接続します。

お知らせ

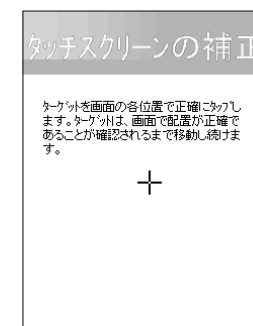
- 充電中は、アラームランプがオレンジ色、または黄色に点灯します。黄色の点灯中は充電を続けてください。充電を中止するとお客様が登録したデータやインストールしたアプリケーションなど、本体内の記憶データが消失するおそれがあります。
- 満充電になると、アラームランプが緑色に点灯します。初回は、必ず緑色に点灯するまで充電してください。

セットアップ

必ず充電が終わったあとに行ってください。

1 電源ボタンを押して電源をONにする

初期セットアップの「Pocket PC 2002」の画面が表示されます。

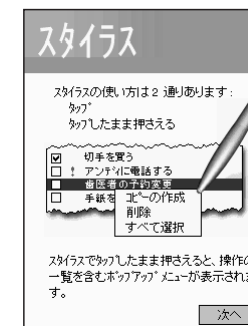
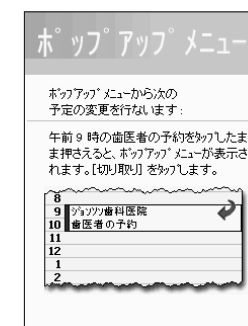
2 LCDハードカバーを開け、画面のどこかをタップする

スタイラスで画面を軽く1回タッチする操作をタップといいます。

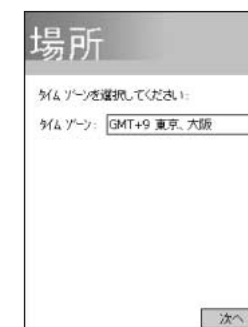
3 +(ターゲット)の中心を5回タップする

+はタップするごとに動きます。5回タップするとタッチスクリーンの補正が完了し、次の画面に移ります。

お願い

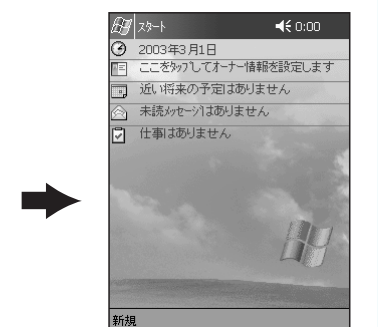
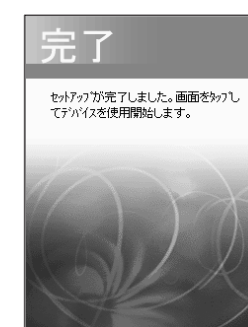
- 指などが画面に触れたりすると、補正できません。そのときは補正が完了しませんので、指などを画面から離し、もう一度+(ターゲット)の中心をタップし、補正を行ってください。

4 説明を読み、[次へ]をタップする

5 画面の説明に従ってポップアップメニューの操作を練習する

「ポップアップメニュー」を表示させる操作と「切り取り」、「貼り付け」を行ってみましょう。

「貼り付け」をしたら、練習は終了です。[次へ]をタップしてください。

6 場所を設定する

通常はそのまま[次へ]をタップしてください。

必要に応じてタイムゾーンのボックスの右側にある▼をタップし、本商品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。

7 画面のどこかをタップする

「Today」画面になり、本体を使用できます。

これでセットアップは終了です。

パソコンとの接続

本体とパソコンを接続すると、本体とパソコンとの間で、「連絡先」と「予定表」、「仕事」、「受信トレイ」の同期やファイルの転送などが行え、便利です。
接続できるパソコンの詳細については、取扱説明書第2章の「パソコンの必要条件について」をご覧ください。
説明画面はWindows® XPを使用しています。お使いのパソコンのOSによって画面が異なります。

お願い
- すでに「Outlook® 2000」または「Outlook® 2002」がインストールされている場合、ステップ1は不要です。ステップ2に進んでください。「Outlook® 2002」をインストール済みのパソコンに「Outlook® 2000」をインストールすると、お客様が登録したデータが消失するおそれがあります。
- 接続の指示があるまで、パソコンとUSBクレードル、USBクレードルと本体を接続しないでください。指示前に接続すると、インストールが正常にできません。

ステップ1 「Microsoft® Outlook® 2000」をインストールする

インストールには、パソコンの空きハードディスク容量が227MB以上必要です。「Outlook® 98」がインストールされている場合でも、「Outolook® 2000」をインストールすることを推奨します。
Exchange Serverを使用しているシステムのパソコンにインストールする場合は、システム管理者にご相談ください。
実行中のプログラムは終了しておいてください。

1 パソコンのCD-ROMドライブにコンパニオンCDをセットする

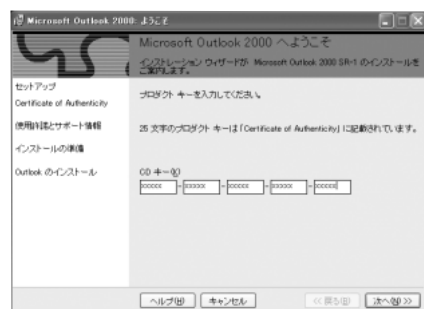
CD-ROMが起動したら、「開始ページ」→「Outlook 2000のインストール」→「インストール」をクリックしてください。

2 「インストールメッセージ」画面が表示されたら、[OK]をクリックする

3 「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら、[開く]をクリックする

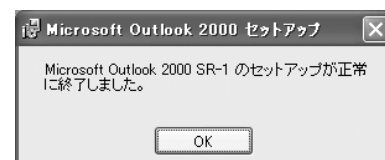
画面が順番に変わっていきます。

4 プロダクトキー番号を入力する画面が表示されたら、番号を入力して、[次へ]をクリックする

プロダクトキー番号は、付属のコンパニオンCDのケースに貼られているシールのバーコードの上部に、「Product Key：」のタイトルで記載されています。
プロダクトキー番号は再発行できませんので、大切に保管してください。

5 インストールの種類を選択する

Outlook®がインストールされていない場合は「今すぐインストール」、Outlook®がインストールされている場合は「今すぐアップグレード」のボタンをクリックしてください。

インストールが開始され、進行状況がバーに表示されますので、しばらくお待ちください。

6 インストール終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする

デスクトップ上に「Microsoft Outlook」のアイコンができます。

7 「Microsoft Outlook」のアイコンをダブルクリックし、「Outlook® 2000」を起動させ、画面の指示に従って設定する

ステップ2 「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

インストールには、パソコンの空きハードディスク容量が10〜50MB必要です。インストールの途中で、クレードル、本体の接続をします。「ActiveSync® 3.1」がインストールされている場合でも「ActiveSync® 3.5」をインストールしてください。
実行中のプログラムは終了しておいてください。

1 パソコンのCD-ROMドライブにコンパニオンCDをセットする

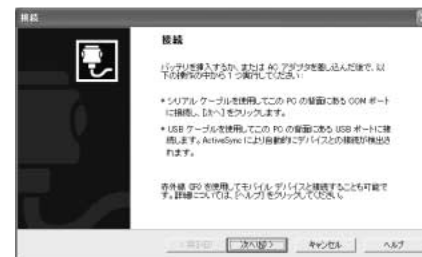
CD-ROMが起動したら、「開始ページ」→「ActiveSync3.5のインストール」→「インストール」をクリックしてください。

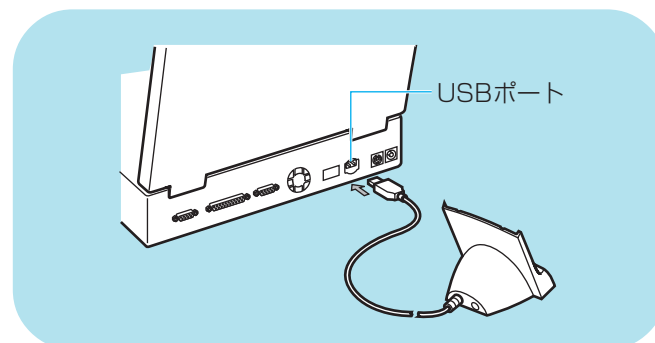
2 「インストールメッセージ」画面が表示されたら、[OK]をクリックする

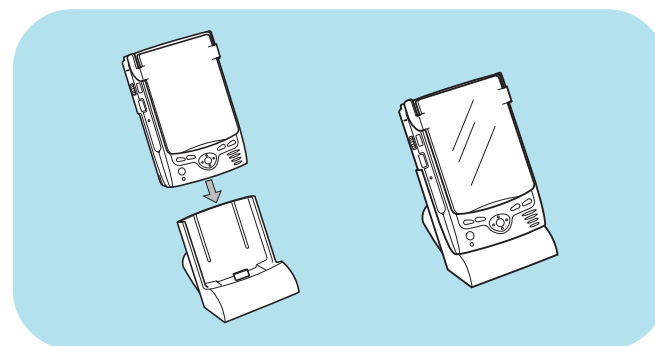
3 「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら、[開く]をクリックする

4 「Microsoft(R) ActiveSync(R) 3.5のセットアップ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする

5 「セットアップフォルダの選択」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする

ファイルのコピー、システムの更新が行われますので、しばらくお待ちください。
下記の「接続」画面が表示されたら、次の操作に進んでください。

6 パソコンのUSBポートに、USBクレードルのみを接続する

このときは、USBクレードルにGENIO e本体を差し込まないでください。

7 USBクレードルに、電源をOFFにした本体を接続する

奥までしっかり差し込んでください。

本体の電源が自動的にONになります。パソコンに次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

8 「パートナーシップの設定」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする

- 「標準パートナーシップ」が選択されていることを確認してください。
- 場合によってはクリック後、操作10の画面が表示されます。その場合は、操作10に進みます。
- 「開始ページ」画面の裏に表示される場合もあります。

9 「データの同期方法の指定」画面が表示されたら、どちらかを選択して[次へ]をクリックする

10 「同期の設定の選択」画面が表示されたら、同期したい情報にチェックを付けて[次へ]をクリックする

同期とは、パソコンと本体で新しい情報を両方に更新させて、同じ情報に保つことです。初期設定では次の情報が同期されるように設定されています。

- お気に入り
- 仕事
- 受信トレイ
- 予定表
- 連絡先

11 「セットアップの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする

「接続完了」の画面が表示され、しばらくすると同期を開始します。同期が完了するまで、しばらくお待ちください。

途中で「プロファイル選択」の画面が表示されたら、そのまま[OK]をクリックしてください。また、「結合/置換」の画面が表示されたら、どれか項目を選択して[OK]をクリックしてください。項目はどれを選択しても問題ありません。

パソコンとの接続と同期が完了すると、「接続完了、同期完了」の画面が表示されます。

これでパソコンとの接続は完了です。

PM0011262010　2003.3